

# 通 告 質 問 一 覧 表

(平成29年6月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	13	9番 石 田 芳 生	<p>1 ため池の維持管理について</p> <p>(1) ため池の維持管理はどのように行われているか</p> <p>(2) 平成25年度から平成27年度にかけて実施されたため池一斉点検の結果はどうであったか</p> <p>(3) ため池は農業施設としてだけでなく、防災、減災の観点からも維持管理していく必要があると考えるが、維持管理にかかわっている農業従事者は減少し、高齢化も進んでいる。市として今後どのように対応するのか</p> <p>2 地域支援について</p> <p>(1) 町内会支援制度に関しては、世帯数の減少や高齢化、また、町内会長の負担が大きいため、せっかくの制度を活用できない町内会も出てくるのではないかと。また、地域の活動や行事の担い手も町内会単位では見込めなくなっており、地域を支援するためには社会福祉協議会の事業やコミュニティ活動も視野に入れるべきと考えるが、今後どのように対応していくのか</p> <p>(2) 町内会に属していない市民は町内会支援制度を活用することができず、また、広報紙が配布されないため防災や子育て情報に格差が生じているが、どのように対応していくのか</p> <p>3 高梁市住宅リフォーム事業費補助金について</p> <p>(1) 平成29年度は受付初日で申請金額が補助金の満額に達しており、制度が周知され盛況である一方、申請を受け付けてもらえなかった市民もいた。この状況をどう考えるのか</p> <p>(2) 現状では業者に依頼して申請していることを考慮し、受付方法や当初予算の金額を工夫すべきではないか</p>
2	3	1番 森 和 之	<p>1 高梁市図書館について</p> <p>(1) 開館3カ月で来館者20万人と依然好調であるが、来館者の多さから危険な道路横断が目につく。図書館内で交通ルールを遵守するよう活動できないか</p> <p>(2) 東側駐車場の利用状況は</p> <p>① 東側駐車場の利用促進策は検討しているか</p> <p>② 料金体系の見直しは考えないのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	3	1 番 森 和 之	<p>2 高梁学童保育の駐車場について</p> <p>(1) 平成 29 年 3 月議会で学童保育の駐車場について別の場所をお願いしたいと質問したが実現しなかった。新学期を迎え引き続き不満の声が聞かれる。駐車場の改善を考え直すことはできないか</p> <p>3 認定こども園について</p> <p>(1) 高梁市街地の認定こども園の設置に向けて、今の幼稚園と保育園の状況を市としてどう考えるのか</p> <p>① 設置に向けた進捗状況について</p> <p>② 未就学児の保育には、自然とふれあうのが重要だと考える。施設を木造建築で建設できないのか</p> <p>4 城下町整備と観光行政について</p> <p>(1) 備中松山城に来城した観光客を市街地に迎え入れるためにも城下町の整備は急務である。執行部の考えを聞きたい</p> <p>① 本町や紺屋川の電柱埋設は可能なのか</p> <p>② 紺屋川周辺の整備を考えられないか。また、親水公園としての機能は持たせられないのか</p> <p>(2) 観光行政としてのトイレ整備について</p> <p>① 城見橋駐車場のトイレにエアコンは設置できないか</p> <p>② 松山城雲海展望台に本格的なトイレを設置できないか</p> <p>5 公園整備について</p> <p>(1) 正宗公園が以前より縮小され、子供のボール遊びもできなくなってきている。市街地にこれといった公園がなく市民の憩いの場が少ない。イベントにも使用できるオープンな場所を整備できないか</p> <p>(2) ハイランドオアシス大型遊具の整備を考えられないか</p>
3	1 4	5 番 石 部 誠	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 市長の政治姿勢について問う</p> <p>① 市の政策や計画について市民の意見や要望をよく聴き策定しているのか</p> <p>② また、市民合意を得るための努力をどのように行っているのか</p> <p>2 高梁市図書館のTポイントについて</p> <p>(1) 貸出図書についてはTポイントを付加しないとしていたが付加している。前議会では「議会でのやり取りは確認できていない」とされたがその確認はできたか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	14	5 番 石 部 誠	<p>3 町内会支援制度について</p> <p>(1) 町内会支援制度の説明会の状況や進捗状況および到達点と、今後の進め方について</p> <p>① 新制度により市民生活、町内会、地域運営がどのように変わるのか</p> <p>② 新制度の市民理解は得られたのか。寄せられた意見によって今後改善されるのか</p> <p>③ 町内会に加入されていない方への対策はどう考えているのか。全体の市民サービスの向上が必要ではないか</p> <p>4 行財政改革と市民サービスについて</p> <p>(1) 市職員の仕事と雇用のあり方について問う</p> <p>① 地域局や市民センターのあり方や今後の運営はどうなるのか</p> <p>② 非正規雇用や再雇用がふえているが市政運営にどう影響しているのか</p> <p>③ 専門職や技師の技術の継承はどうなっているのか</p>
4	10	4 番 森 上 昌 生	<p>1 高梁市図書館の指定管理について</p> <p>(1) 市民にとってCCCによる指定管理のメリットは何か</p> <p>(2) 指定管理のデメリットがあればそれは何か</p> <p>(3) 図書館開館後、ほぼ3カ月の間に20万人の来場者があったとのことだが、本来の図書館の来館者と、その他の利用者が一緒にカウントされており、実際の図書館利用者、その他の施設利用者、駅利用の通り抜けの利用者の数はどのように峻別しているのか</p> <p>2 Tカードについて</p> <p>(1) Tカード（Tポイント）は当初高梁市図書館利用に関して採用しないとのことであったが、どのような経緯でこれを採用したのか</p> <p>(2) Tカード（Tポイント）の採用に関して顧問弁護士、高梁市情報公開及び個人情報保護審議会の意見はどのようなものか。また、審議会のメンバーはどのような構成か</p> <p>(3) Tカードは営利行為であり、これを公共施設であり、本来教育施設である高梁市図書館においてTカードを導入することは特定企業への便宜供与にならないのか</p> <p>3 高梁市図書館の活用について</p> <p>(1) 4階のキッズスペースは利用者がほとんどいない時間帯もあるが、この現状についてどのように考えているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
4	10	4番 森上昌生	<p>(2) キッズスペースの対象者を考えると、利用者が余りない時間帯をもっと有効に活用することはできないか</p> <p>4 野良猫対策について</p> <p>(1) 野良猫対策についてたびたび質問しているが、現状では野良猫によるさまざまな住民間トラブルが出ている。具体的対策は検討されているのか</p>
5	12	7番 石井聡美	<p>1 消費者教育について</p> <p>(1) 高齢者を標的にした特殊詐欺への注意を喚起するメール配信サービスを、今年に入ってからよく目にしていて。発生件数と被害状況を把握しているか</p> <p>(2) 対策として消費者教育が重要になってくると思うが、市ではどのような施策を行っているか</p> <p>(3) 消費者相談会への参加はどのような状況か</p> <p>(4) 消費者相談会はすでに被害を受けた人が対象になっているが、予防的な観点から公民館などでも消費者教育の講習会を行うなど、情報発信の機会をふやしてはどうか</p> <p>(5) 学校教育の中で、消費者教育はどのように行われているのか</p> <p>(6) 子育て世代への啓蒙には、スマホアプリの「高梁いんふお」をもっと活用すべきではないか</p> <p>2 備中高梁駅の駐車場について</p> <p>(1) 備中高梁駅周辺にある、駅東パーキングと一時停車用駐車場、図書館駐車場の利用状況を問う</p> <p>(2) 十分活用されていない駐車場について、利用形態を見直すべきではないか</p> <p>(3) 例えば、カーシェアリングサービスを提供している業者と提携するなど新たな仕組みを導入すれば、市民の利便性が上がるのではないか</p> <p>3 市民サービスについて</p> <p>(1) 市は市民にサービスを提供する提供者として、もっとわかりやすく、アクセスしやすいサービスを目指すべきではないか。せっかく便利なサービスがあっても、わかりにくいものは使いづらい。伝える側は、より一層の工夫が必要なのではないか</p> <p>4 市街地活性化について</p> <p>(1) 図書館ができたことで、駅前のにぎわいはつくり出せたのか。現状での評価を問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
5	1 2	7 番 石 井 聡 美	<p>(2) 今後、栄町商店街や旭町周辺に一層のにぎわいをつくり出すための方策を問う</p> <p>5 インバウンド観光について</p> <p>(1) インバウンド観光を促進するために、市内の商業者が海外旅行者向けのサービスを行うことについて、インセンティブが働くような助成や補助を行うべきではないか。例えば、小売店がクレジットカードやデビットカードに対応する、飲食店が英語のメニューをつくる、宿泊業者がさまざまな形のプラグに対応したコンセントをつけるといったことに対して、市として助成や協力ができないか</p>
6	7	2 番 平 松 賢 司	<p>1 農業競争力強化支援法について</p> <p>(1) 支援法は高梁市のような中山間地域の農業振興に役立つのか、市の見解を問う</p> <p>(2) 市として農業競争力強化支援法に基づく具体的な施策は考えているのか</p> <p>2 防災ラジオと屋外放送塔について</p> <p>(1) 屋外放送塔を存続し、全市的設置を望む市民の声に応えるべきと思うがどうか</p> <p>(2) 屋外放送塔が廃止になると、火災の際サイレンを放送する設備がなくなり防災上問題である。年次の計画を立てて設置すべきではないか</p> <p>(3) 防災ラジオの放送内容は、防災行政無線を運用している地域にラジオを導入しても、今までどおりの内容が放送できるのか</p> <p>(4) 行政及びJAなどからの情報をベースに、各地域の市民代表による放送番組選定委員会をつくり、放送内容を充実させることが必要と思うがどうか</p> <p>3 水道料金について</p> <p>(1) 使用水量5トン未満の世帯は全体の何%か</p> <p>(2) 5トン未満の少量使用者については基本料金を新たに設定すべきではないか</p> <p>(3) 簡易水道料金を上水道料金まで引き下げて市内同一料金にするべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
6	7	2 番 平 松 賢 司	<p>4 公共交通について</p> <p>(1) 共産党が行った市民アンケートの結果では、高齢者や交通弱者の方からきめ細かい公共交通施策を願っている意見がある。結果をふまえ、その声に市はどう答えていくのか。具体的な施策を問う</p> <p>(2) 市に公共交通専門部署を創設して取り組むべきではないか</p>
7	8	6 番 三 村 靖 行	<p>1 岡山自動車道について</p> <p>(1) 賀陽 I C から北房 J C T までの暫定 2 車線区間 4 車線化に向けて、一部の区間が去年 6 月に選定され車線増になることが決定した。このことについて本市の対応を問う</p> <p>① 車線増に伴い、本市に及ぼされる影響はどのように考えているのか</p> <p>② 今回 3 カ所で 9.4 キロメートル区間の拡幅と聞いているが、それに伴う残土が 40～50 万立方メートル発生するとのことであるが処分する場所は確保できたのか</p> <p>③ 残土処分する場所へアクセスするには、大型車の搬入が必要となる。そのための工事については、市内業者で対応できるよう岡山、津山高速道路事務所に働きかけることはできないか</p> <p>④ 残された 2 車線区間の今後の工事について問う</p> <p>⑤ 高梁サービスエリアに平成 29 年 4 月にウエルカムゲートがオープンし、一般道から歩行者のみがサービスエリアに入ることができ、利用が可能となった。このことによって多くの方の利用が予想されるがアクセスする道路は 3 メートル弱と狭く、急峻でまた待避所もなく不便な道路である。地域活性化のためにも安心して通行できるよう改良できないか</p> <p>2 通学路の安全対策について</p> <p>(1) 国道 313 号の歩道整備、安全対策について問う</p> <p>① 歩道整備が中断して 15 年が経過しようとしている。平成 26 年 12 月議会でも質問したが、あれから 2 年半経過するが現状は全く変化していない。なぜ進まないのか</p> <p>② 通学路の一部に防犯灯が必要な箇所があり、P T A から安全対策として設置するのをお願いをしている。検討するという返事はいただいているが、なぜいまだに設置されていないのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	8	6 番 三 村 靖 行	<p>3 公共交通について</p> <p>(1) 川面・巨瀬・中井地区に生活福祉バスが運行しているが、いまだに利用率が低い。この現状をどのように把握しているのか</p> <p>① 現在までの利用率を問う</p> <p>② 去年の6月議会で運行時間の変更をお願いしているが、検討するとのことであった。どのように検討されたのか</p> <p>③ 運賃の改正は、全市的な取り組みが整った中で総合的な判断で見直しを図ることであるが、いつ頃になるのか</p>
8	11	8 番 黒 川 康 司	<p>1 医療計画について</p> <p>(1) 当初予算で1,000万円の医療計画策定予算を計上しているが、この計画について第7次岡山県保健医療計画の高梁・新見圏域保健医療計画とどう異なっているのか。どこへどのような内容を委託するのか。また、その進捗状況を問う</p> <p>2 成羽病院について</p> <p>(1) 成羽病院の医療型療養病床42床について、どのように転換していくのか問う</p> <p>(2) 今後の医師確保については、どのように考えているのか問う</p> <p>3 高梁市住宅リフォーム事業費補助金について</p> <p>(1) この事業は、地域経済の活性化及び定住促進を目的に平成23年度に創設されたものである。4月12日付の新聞記事によると申請受付開始30分程度で予算額に到達し、受付が終了、申請できなかった方も多くいた。過去の年度実績相当額を当初に予算計上したらどうか問う</p> <p>4 観光振興について</p> <p>(1) ラ・フォーレ吹屋の運営については指定管理をしており、施設修繕については市が行っているが、施設に付随している植栽についての維持管理は、協定書ではどのようなになっているのか問う</p>
9	4	12 番 小 林 重 樹	<p>1 観光行政について</p> <p>(1) 松山城への観光客が昨年10万人を突破した。そこで次のステップに向けた観光戦略が求められるが、高梁広域圏での観光施策の展開を問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	4	12 番 小 林 重 樹	<p>(2) 昨年、高梁城南高校総合情報科の生徒が、高梁商工会議所、高梁市役所産業観光課協力のもと、ワークショップ、アンケート調査を行い、その報告・提言書が高梁城南高校、高梁商工会議所と、それぞれ平成 29 年 3 月に提出されているが、その内容と今後、行政の取り組むべき施策について問う</p> <p>(3) 高梁商工会議所の「報告書」に付随して、高梁商工会議所会頭名で「高梁市の観光に関する提言」が市長に提出されている。その内容と、今後の行政側の取り組みを問う</p> <p>2 産学官連携関連事業について</p> <p>(1) アニメスタジオが栄町商店街の一角にできると聞いているが、その内容はどのようなものか。また、市、大学とのかかわりはどうなのか</p> <p>(2) スタジオ設立を契機に栄町商店街の振興、活性化に取り組むべきだと思うが、行政として大学、民間と連携して何か施策を進めているのか</p> <p>① 栄町をアニメ通りにする</p> <p>② アニメーション文化学部の栄町キャンパス設置等</p> <p>3 旧朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について</p> <p>(1) 閉館以来、市民の皆様より、ご心配をいただいている旧「ゆ・ら・ら」であるが、今後の旧「ゆ・ら・ら」の対処をどのように考えているのか</p>
10	1	13 番 倉 野 嗣 雄	<p>1 地方創生事業について</p> <p>(1) 薬草栽培での地方創生に取り組んでいるが、現時点での成果はどのようになっているのか</p> <p>(2) 今後の計画と考えを問う</p> <p>2 地域要望と買い物難民について</p> <p>(1) 有漢町地域では後継者不足から商店がなくなりつつある。一方高齢者はふえてきて買い物をする場所がなくなっている。買い物難民といわれている人々をどのように救済していくのか問う</p> <p>(2) 誘致企業や地域要望としてコンビニエンスストアの開店を求める要望があるが、本市としての考えや支援があるのか問う</p>



順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	1	13番 倉野嗣雄	<p>3 岡山自動車道4車線化について</p> <p>(1) 岡山自動車道4車線化については昨年、狭小箇所について付加車線の工事が決定し、そのうち約70%が今後5年間で完成すると聞いている。工事に伴って出る残土処理について本市で処理する数量が示されたと聞いているが、市の考え方を問う</p> <p>4 有漢工業団地用地について</p> <p>(1) 現在の工事の進捗はどのようになっているのか問う</p> <p>(2) 市としての企業誘致や地元企業からの問い合わせなど具体的な話があるのか。また、本市としての考えがあれば問う</p>
11	5	3番 伊藤泰樹	<p>1 教育環境の整備、人員適正配置について</p> <p>(1) 昨年度までで市内の小中学校の普通教室においてエアコンが整備されたが、冬季には灯油ストーブを利用している学校があると聞く。児童生徒の健康のためには換気を十分にしたとしても適当ではないという意見があるが、今後も灯油ストーブを使用していくのか市の方針を問う</p> <p>(2) 学校の環境という意味では人員の適正配置も学校を維持していくうえで重要なことであると考え。現在、市の小中学校において校務員が常勤配置されていない学校がある。学校の環境美化、さまざまな用務、教師の方々の労務負担の軽減を考えても校務員は常勤配置が望ましいと考え、市の方針を問う</p> <p>2 公共施設の利便性の向上について</p> <p>(1) 市の公共施設について、利用者目線ではなく、管理者目線の運用がなされ、利用者が不自由に感じられている例があるが、改善ができないのか市の方針を問う</p> <p>① 高梁市複合施設について、公共交通（バス）の稼働時間と施設の開館時間が一致していないため、公共交通機関利用者の利便性が大きく損なわれていると聞く。特にバス利用者の目線に立って、天候に左右されない動線の確保ができないか</p> <p>② 現在、成羽地域において高梁市養護老人ホーム・成羽認定こども園の建設が予定されているが、施設ができることによって、一般県道宇治下原線との交差点において、通園時間と近隣にある企業への出勤時間と重なることによって、交通に支障がでるのではないかと懸念されるが、周辺整備についての検討は行われているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1 1	5	3 番 伊 藤 泰 樹	<p>③ 現在、成羽地域において、なりわ複合施設の建設が予定されているが、単に施設の設計だけでなく、周辺を含めた面の計画が必要であると考え、各種団体からの要望、先日行われたワークショップで発表された意見を生かし、利用者の視線をどのように取り入れ、どのように考えているのか周辺の施設を含めた面整備の方針を問う</p> <p>3 防災について</p> <p>(1) 本年度、市において家屋及び林野火災等が例年以上に発生している。現状の分析と対策について、どのように捉えているのか</p> <p>(2) 市において 123 カ所の避難場所が指定されているが、いざ災害が発生し、避難が始まった場合、各施設の準備・運営・管理体制は決まっているのか問う</p> <p>4 高梁市住宅リフォーム事業費補助金について</p> <p>(1) 今年度 4 月に行われた住宅リフォーム事業費補助金申請について</p> <p>① リフォーム補助金ができ経緯について問う</p> <p>② 過去の実績で件数と業者数について問う</p> <p>③ 受付期間終了を待たずに受付を打ち切ったと聞か、何が問題であったのか、どう理解しているのか</p> <p>④ 大変人気の高い補助金で今後も実施されるべき制度だと思うが、改善点について検討したのか</p>
1 2	6	11 番 宮 田 好 夫	<p>1 市立学校再編について</p> <p>(1) 市内の小中学校のあり方を検討する「高梁市立学校再編推進審議会」が 5 月 11 日に第 1 回目の会議が開催されたが、その内容について問う</p> <p>① この審議会の位置づけや目的は何か</p> <p>② 構成メンバーはどうなっているのか</p> <p>③ 協議内容は具体的にどのようなものなのか</p> <p>④ いつごろまでにまとめを出すのか</p> <p>⑤ P T A や地域にどのように情報提供をするのか</p> <p>⑥ 会議録の公表はするのか</p> <p>2 県立高等学校について</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
12	6	11 番 宮 田 好 夫	<p>(1) 岡山県高等学校教育研究協議会が昨年6月から開催され、平成40年度を目途とする県立高等学校教育体制の整備について研究協議が行われている。市として高梁の高等教育に積極的にかかわるべきではないか</p> <p>① 市外の高校へ通学している生徒はどのくらいいるのか。逆に市外から通学している生徒はどのくらいか</p> <p>② 高校の生徒用に寮があるが、活用状況はどうか</p> <p>③ 備北学区の生徒の減少は避けて通れない。市として市外や県外から生徒を受け入れるための寮などを検討してはどうか</p> <p>④ 市内には県立高校2校、市立高校2校、私立高校1校があるが、市が主導し、各校参加のもと将来の高等教育を語る場をつくったらどうか</p>
13	9	16 番 宮 田 公 人	<p>1 消防団の組織・行事・装備のあり方について</p> <p>(1) 郡部においては消防団員の減少により、部の統合再編が進んでいる。このような中、1分団に1部という組織体系が増加している。分団と部の関係がアンバランスな状態となっているが今後どのように組織再編に取り組んでいくのか考え方を示すこと</p> <p>(2) 高齢化の進展により、消防団では、防火・消火活動に加え、捜索のための出動が増加しており、高梁市の地形特性上、山間地を捜索することが多い。現在配備されている特定小電力トランシーバーでは電波の到達距離が数百メートルと限られており山間地での捜索時には十分な通信手段として機能しないことがある。これを補うため、デジタル簡易無線を導入する消防団がふえ始めている。こうした通信手段の確保について考え方を示すこと</p> <p>(3) 消防操法訓練大会の実施は、消防機材器具の適切かつ迅速な取り扱いを習得する上で有効な方法と認識している。しかし、消防団員の減少と就業形態の変化により、夜勤等の交代勤務を行う団員が増加している。こうした中で練習日程や時間の調整が難しくなり出場希望者も減少している。さらに、定期的な訓練の出動率の低下にも影響を与えている。団員を取り巻く環境の変化により消防団のあり方を見直す時期ではないかと考えるが具体的な対策について示すこと</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
13	9	16 番 宮 田 公 人	<p>(4) 本年度の新入基本団員は高梁全域で 13 名と決して多い人数とはいえない。消防団加入促進の取り組みを調べてみると、大学生消防防災サークル支援事業、ドローンを活用した消防団機能強化及び加入促進、「消防団応援の店」の推進、地域密着型プロスポーツチームとの連携などさまざまな事例があり、高梁市でも実施可能と考える。消防団加入促進のための取り組みについて示すこと</p> <p>2 就学前教育の充実と児童数の減少が著しい郡部幼稚園のあり方について</p> <p>(1) 松原幼稚園では平成 29 年度の園児数が 2 名となってしまった。こうした中で経過措置として 1 年間の猶予をいただき、まちづくり推進委員会と P T A が協力して入園促進活動を実施している。高梁市では就学前教育を重点施策としているがこうした状況をどのように捉えているのか考え方を示すこと</p> <p>(2) 共働きの子育て世代が増加する中、幼稚園よりも保育園のニーズが多くなっている。郡部の幼稚園においても預かり保育の最終時刻を午後 5 時 30 分から 30 分延長して、午後 6 時までとすることができれば地元で預けようという保護者もふえると考え。真庭市では午後 5 時 50 分まで預かりを行っている園も存在していると聞く。こうしたサービスの拡大の可能性について考え方を示すこと</p> <p>(3) 現在は「高梁市立幼稚園設置及び学級編制に関する基準（内規）」によって幼稚園児の人数のみが園存続の判断基準となっている。幼稚園の存続の有無は、連鎖的に小学校の存続にも影響を与え、ひいては地域の定住人口にも影響を与えていく。地域のあり方を考える上では小学校との関係性や同じような課題を抱える地域同士の意見交換など縦と横の連携も必要と考える。こうした情報交換の場をこども未来課と教育委員会において設けるべきと考えるが対応策について示すこと</p> <p>(4) 旧市街地には、高梁幼稚園、高梁南幼稚園、高梁保育園と 3 つの園が存在している。高梁保育園の園児数が 136 名に対し、高梁幼稚園が 19 名、高梁南幼稚園が 37 名となっている。有漢地域、川上地域、成羽地域においてはこども園化が進められており、旧市街地においても、こうした園の統合は避けて通れないと考えるが今後の方針を示すこと</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
13	9	16番 宮 田 公 人	<p>3 平成27年国勢調査の結果をどのように分析・評価しているのか</p> <p>(1) 平成26年の増田レポートの発表を受けて、地方公共団体は一斉に人口減少対策に乗り出すこととなった。このことは地方創生の流れにつながり現在に至っており、高梁市においても「高梁市人口ビジョン」及び「高梁市まち・ひと・しごと総合戦略」を策定しさまざまな施策に取り組んでいる。平成26年9月、12月議会において、平成17年と平成22年の国勢調査の結果をグラフ化した資料を提出し、諸般の政策の効果がいかに次期の国勢調査に反映されるかが重要だという議論を交わしたところである。今般、平成27年国勢調査の結果が示されたが、この結果をこれまでの施策と照らし合わせてどのように分析・評価しているのか示すこと</p>
14	2	15番 川 上 博 司	<p>1 防災対策について</p> <p>(1) 突然の大雨に備えた防災対策を強化していくべきではないか</p> <p>(2) 一次避難所と二次避難所について、洪水、土砂、地震と指定する緊急避難場所として明確にすべきではないか</p> <p>(3) 災害発生時における避難所運営はどのように取り組んでいくのか</p> <p>2 AED（自動体外式除細動器）について</p> <p>(1) 24時間（夜間）に対応するための方策は考えているのか。コンビニエンスストアに協力していただき設置すべきではないか</p> <p>3 学園文化都市づくりについて</p> <p>(1) 順正学園との連携をさらに強化してまちづくりを進めていくために、その基本となる（仮称）学園文化都市推進条例を制定すべきではないか</p> <p>4 若者の政策形成過程への参画について</p> <p>(1) 若者議会の開催、審議会等における若者の登用などに取り組むべきではないか</p>